

# カムイの湯 ラビスタ阿寒川

Kamuinoyu La Vista Akangawa

No. 16-031-2015作成

新築  
ホテル

発注者	株式会社 共立メンテナンス	カテゴリー				
設計・監理	戸田建設株式会社一級建築士事務所 TODA CORPORATION	A. 環境配慮デザイン	B. 省エネ・省CO <sub>2</sub> 技術	C. 各種制度活用	D. 評価技術/FB	
施工	戸田建設株式会社札幌支店	E. リニューアル	F. 長寿命化	G. 建物基本性能確保	H. 生産・施工との連携	
		I. 周辺・地域への配慮	J. 生物多様性	K. その他		

## 阿寒国立公園内に建つ、森に溶け込むリゾートホテル

### 自然に抱かれたホテル

ラビスタ阿寒川は、釧路空港から約1時間の阿寒国立公園内にあるリゾートホテルである。建物は、森に溶け込むために極力低くおさえ、屋根は切り妻としている。外壁は、コンクリート打放しをベースに木や石の自然素材を用い、色彩はアースカラーを基調としている。エントランス、レストラン、大浴場からは、森と清流を愛でることができる。それらの内装には、丸太や石等の自然素材を多く採用している。客室は、清流に面して配置され、しばしば訪れる鹿と清流をベンチで愛でることや、くつろいで檜風呂に浸ることができる作りとなっている。



清流沿いに建つリゾートホテル

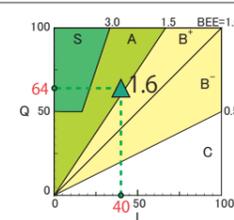


森を望むエントランスホール



森と清流を愛でるためのベンチのある客室

建物データ	省エネルギー性能	CASBEE評価
所在地	PAL削減	Aランク
竣工年	29 %	BEE=1.6
敷地面積		2014年度版
延床面積		自己評価
構造		
階数		



### 自噴する温泉利用

敷地内には、450L/minの温泉が自噴している。このため、大浴場、露天風呂はかけ流しとなっている。客室檜風呂にも供給している。さらに温泉熱を熱交換によって、客室の給湯や敷地内のロードヒーティングに利用している。

### 湧水の給水利用

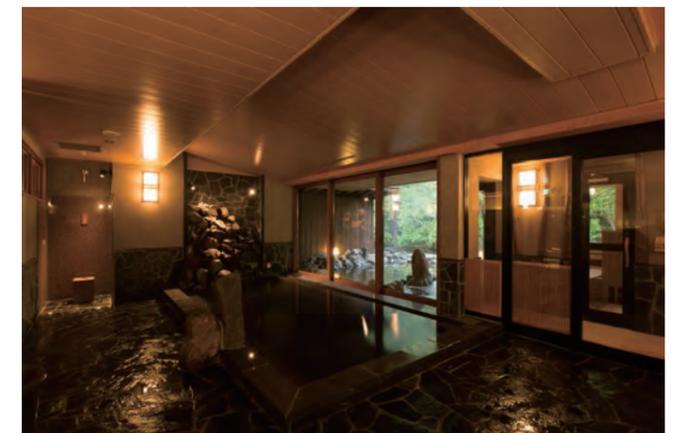
建設地は山深く水道インフラがないため、給水は現地から800m程はなれた湧水採水池から、専用水道を敷設し建物まで引き込んでいる。建物近傍までは電力を使わずに自然勾配としている。なお、この湧水は年間を通じて約10度のため、その冷熱を熱交換することによって客室の冷房に利用している。また、前述のように温泉が自噴する土地に建つため、地熱対策としてピット内にクーリングパイプを敷設し、湧水を循環させている。



森に溶け込んだエントランス



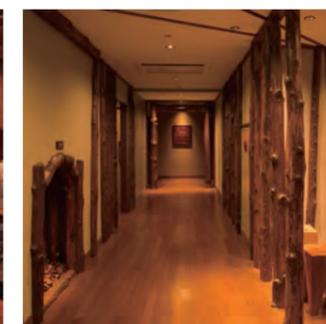
森をみるレストラン



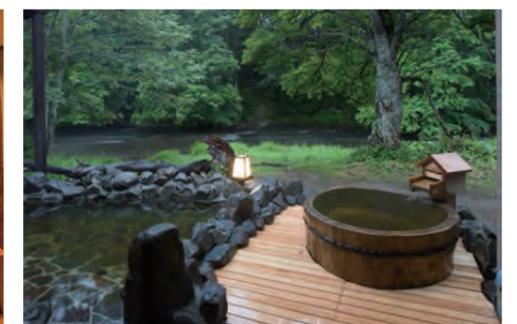
自然素材に囲まれた大浴場



暖炉のあるライブラリー



野趣のある丸太を配した共用廊下



森に抱かれた露天と檜風呂

### 設計担当者

デザイン監修：堀内信男／統括、意匠：山島勝／構造：東口剛、多田公平／設備：小野塚真

### 主要な採用技術 (CASBEE準拠)

- Q3. 1. 生物環境の保全と創出 (豊かな植栽計画)
- LR1. 2. 自然エネルギー利用 (温泉熱利用)
- LR2. 1. 水資源保護 (節水型設備機器)
- LR2. 2. 非再生性資源の使用量削減 (北海道産木材の採用)